

角度調整が簡単に出来る手術機器、^{きんこう}筋鈎を開発

本学「医療ニーズ発表会」発の医療機器製品化初事例

【本件のポイント】

- 任意の角度で術野の展開が可能
- 先端の角度は約55度～125度まで調整することが可能
- 手元で筋鈎の先端が操作可能で、簡便に術野を展開

学校法人関西医科大学（大阪府枚方市 理事長・山下敏夫、学長・木梨達雄）形成外科学講座松岡祐貴医員、覚道奈津子教授は、アリオメディカル株式会社（兵庫県尼崎市 代表取締役社長・永原英行）と共同で、医療現場のニーズに応える医療機器“角度調整機能付き筋鈎「ショベルコー」”を開発し、製品化することになりました。

開発の経緯

外科手術において術野を広げておくために使用する鈎（こう）という手術器械があります。現状、鈎の先端部は単純にL字型に90度曲がっただけのものがほとんどです。鈎の先端を効かせるためには医療者が、鈎を持つ腕の角度や引く力加減を変えることで調整していました。しかし、それは医療者にとっては大きな負担にもなっています。

その医療者の負担を少しでも軽減でき簡便に術野を展開するために開発に取り組み完成したのが「ショベルコー」です。今回この「ショベルコー」は、本学で毎年開催している「医療ニーズ発表会」での発表が発端となって開発されました。「医療ニーズ発表会」とは、学内教職員から募った医療ニーズを、ニーズの新しさ・技術の難易度・商品性等の観点から選抜し全国の製販企業に向けて発信するもので、この発表会に端を発した初の医療機器製品化事例となりました。

本製品のポイント

手元のダイヤルを回すことで、先端の角度調整が可能です。術野を広げる際には、手元の操作で楽に術野を広げることができます。また鈎先端の形状は、脂肪など深層のしっかりと掛かって欲しい部分には滑りにくい様に凹凸が付いており、逆に皮膚など表層を傷つけない部分は凹凸を無くし滑らかな形状になっています。



松岡祐貴 医員



覚道奈津子 教授



【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（佐脇・林）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

リリース先：大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会、
科学記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ

2023年7月3日

No.000205



PRESS RELEASE

■製品情報

角度調整機能付き筋鉤「ショベルコー」

主な特長

- 簡単な操作で角度調整が可能
- 任意の角度で術野の展開が可能
- 先端の角度は約55度～125度まで調整することが可能
- 手元で筋鉤の先端が操作可能で、医療者の負担も軽減

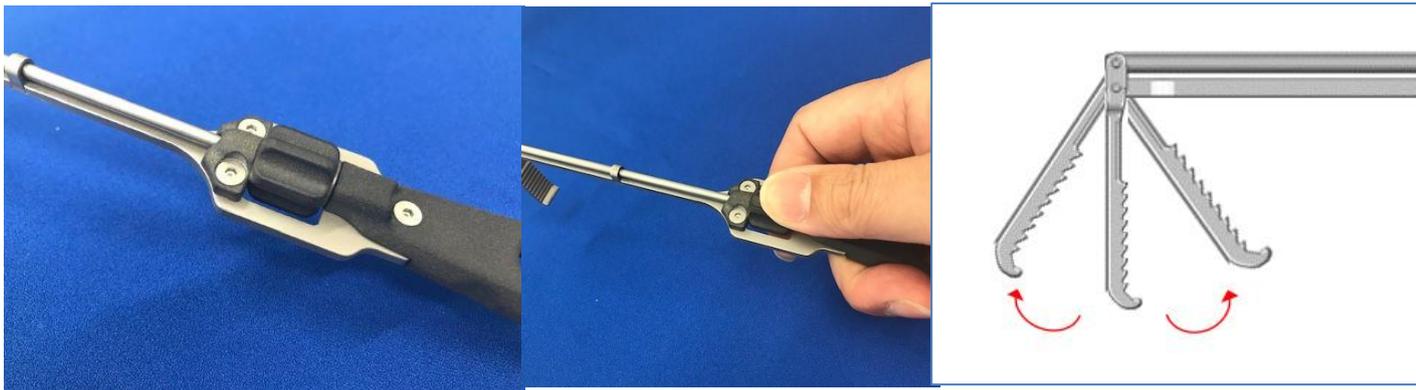
商品名：ショベルコー

製造販売：アリオメディカル株式会社

クラス分類：クラスI（一般医療機器）

製造販売届出番号：28B3X10030AMA004

参考価格：70,000円（税抜）



■販売会社情報

アリオメディカル株式会社

設立：2001年7月3日

本社：〒661-0964 兵庫県尼崎市神崎町39番29号

資本金：1600万円

WEBサイト：<https://www.ariomedical.co.jp/>

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（佐脇・林）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp